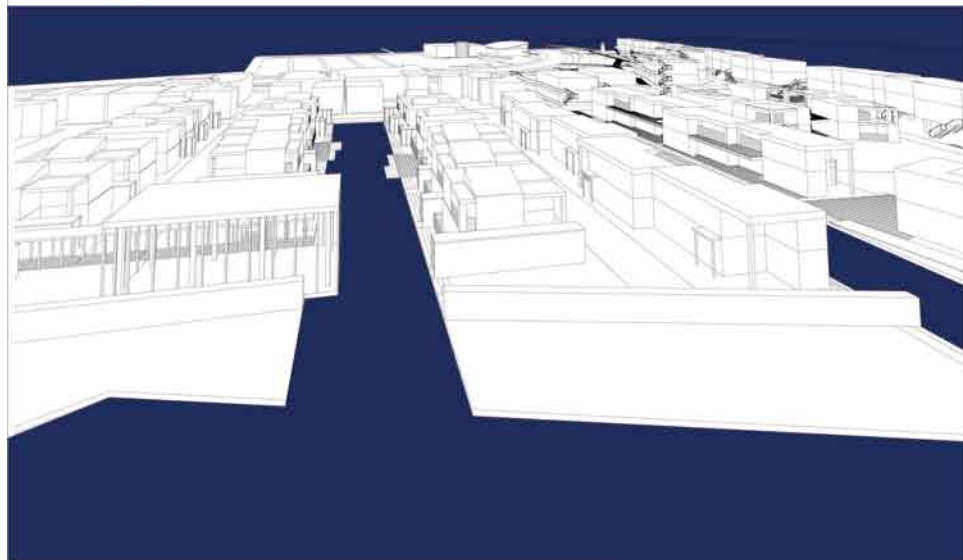


Sea Side Town ~海を感じる場所~



Location

広域調査

敷地及びその周辺の現状を調査し気づいた点を以下にまとめる。

- ・港側周辺は緑地に樹木が少ない。
- ・港側周辺はトラックが多いため道路の幅が広い。
- ・青果物市場は道路側に出入り口があり、港側から侵入できない。
- ・漁港で釣りをしていた子供たちがいた。
- ・敷地内の公園は緑野などの環境面で快適な空間ではなかった。(調査で子供たちが遊んでいたことが一度もなかった)
- ・防災センターは普段地域住民の交流の場として解放されている。

敷地紹介

対象敷地： 三重県津市港町
 用途地域： 近隣商業地域
 容積率： 300%
 建ぺい率： 80%
 敷地面積： 26000 m²

敷地特徴

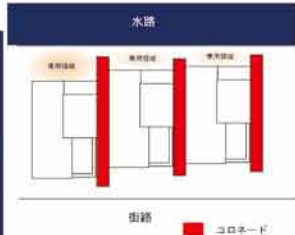
- ・対象となる敷地は南から西側にかけて水域に面している。
- ・対象地の東側にフェリーターミナル、西側には漁港がありその漁港をまたいだ奥に市場がある。
- ・敷地の水域に面する部分には防波堤があるため、敷地内の川から水域を望める部分が取られている。
- ・岩田川の河口付近であるため緩衝空間となっていて通過交通はきわめて少ない。

広域図 S = 1 : 1000

Design

Block A

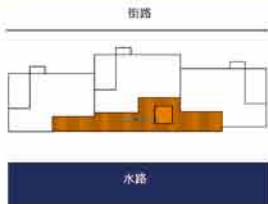
街路側から水辺側へコロネードを通すことで、空間が区切られ、住戸専用の領域が生まれる。また住戸が水路に面しているため個人用ボートを所有し、水上をボートで行き来することができる。



Block A Unit plan S= 1:100

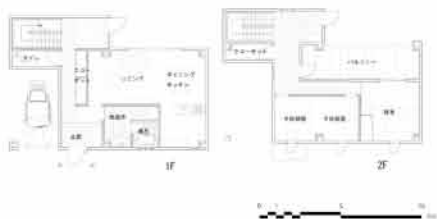


Block B

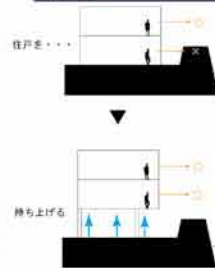


2層部分にデッキを設け、住戸のCOMMONスペースとすることにより2階のレベルから水面を望むことができる。またこのCOMMONスペースを通して、住戸同士の関係が親密になる。

Block B Unit plan S= 1:100



Block D



住戸からの視界を重複し1層部分をピロチとし、2、3階を住居とする。また一番眺望のよい南部分に、客間と居間を配置する。
また住居のそばを通るプロムナードデッキからは住戸の中が見えないように配慮する。

Block D Unit plan S= 1:100



Block C

防災センターは音境、主に高齢者が交流の場として利用していることを考慮し、高齢者向けの住戸を防災センターと公園を囲むように配置する。
高齢者向けの住戸ということで1階レベルで生活が一通り行えるように配慮し、2階は子世代の家族が遊びに来たときのための居間を設ける。



Block E

Block E Unit plan S= 1:100



立体的に段々状の形状をとることや住棟と堤防をつなぐデッキを設けることにより築側に対して開いたような造形を表現する。また一番高くなる部分の屋上に展望スペースを設けることにより、海や近隣の住宅を一望できる。

Block E elevation S= 1:200

Plan 1

